

南葛西第二小学校応援団実践報告書

1 校長及び代表氏名

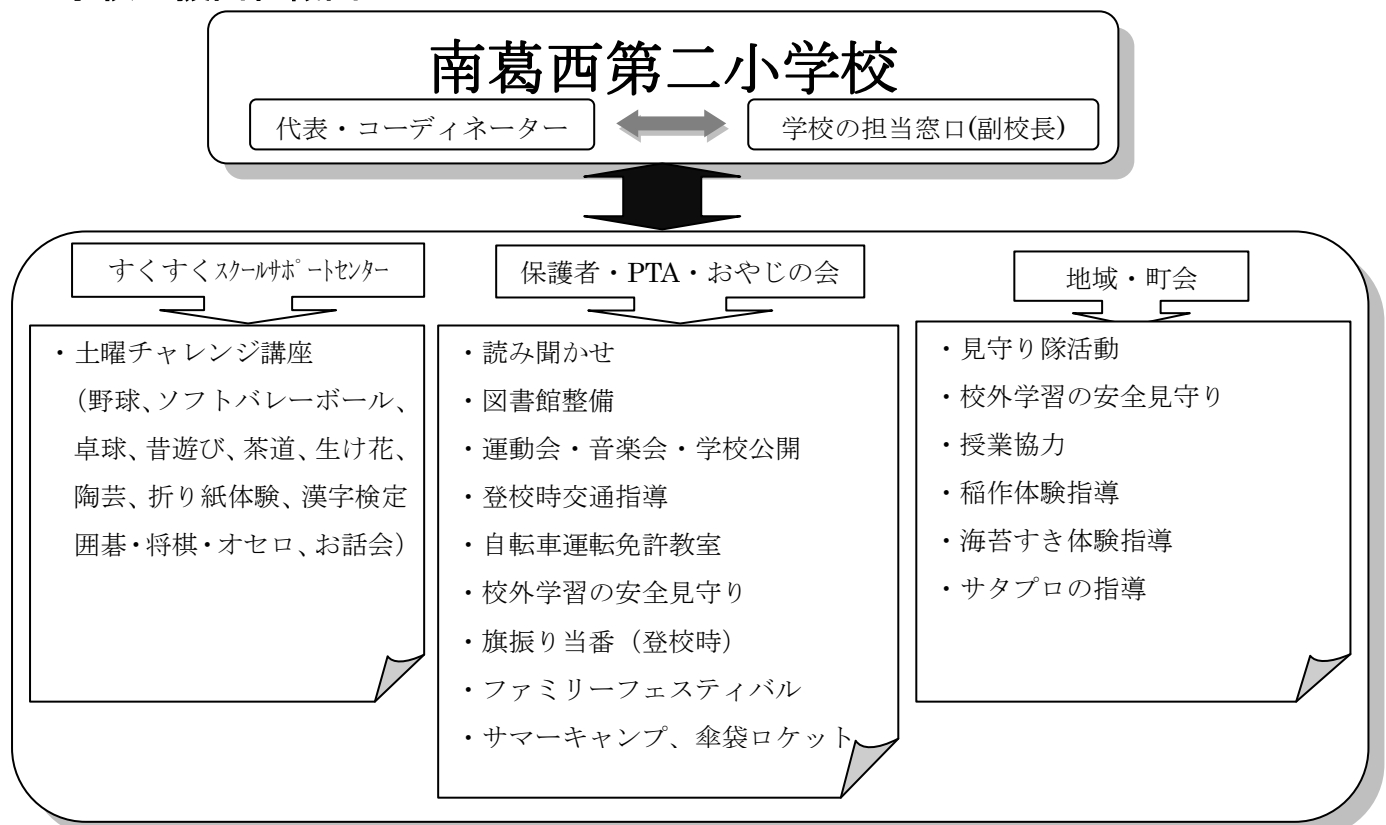
南葛西第二小学校長 川村 房子
代表 稲福 まき子



2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り、安全パトロール 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率	○登下校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車運転免許教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援
学習活動	調理実習の支援 稲作体験の指導 海苔すきの指導 サタプロの指導 土曜チャレンジ講座	○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○田植えと稲刈りの指導や体験の支援 ○海苔すきの指導や体験の支援 ○サタプロの計算の支援 ○野球、ソフトバレーボール、卓球、昔遊び、茶道、生け花、陶芸、折り紙、将棋・オセロの体験の支援 ○おやじの会によるサマーキャンプ
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 毎週火曜日に全学級で、保護者による読み聞かせを行い、子どもたちが本に親しむことができ、朝読書の活動が充実した。また、図書ボランティアの方の協力で学校図書館の本の整備や修理ができ、読書環境が整った。
- 年間6回の「土曜チャレンジ講座」の開設により、子どもたちは、様々な運動や文化的な体験をすることができ、心身ともに成長した。さらに、地域の方々との交流が図れ、地域の方に感謝する気持ちが育まれた。
- 地域やPTAの役員・校外委員会の方々の朝の旗振り・交通見守りや長期休業中の夜間パトロールにより子どもたちの安全が確保された。また、地域の自治会による下校時の安全パトロールにより防犯が強化された。

<課題>

- 本校の特色である「土曜チャレンジ講座」を生かした形で、学校応援団として活動してもらっているが、授業等の学習活動をさらに充実させていくために組織を見直し、新しい形で学校応援団の組織編成を図る必要がある。
- 地域等の人材発掘を行い、応援団の種類をもっと増やしていく。
- すくすくスクールのサポートセンターとの連携をもっと強くし、PTAの負担を減らしていく。

5 代表より

南二小の子どもたちが、心身ともに健やかに成長していくことを願い、「学校応援団」の代表として今後も学校の教育活動を支援していきます。

ただ、「土曜チャレンジ講座」を中心にして学校応援団を組織してきたので、組織が硬直化してきて、学校の応援団として柔軟に対応できていないように思うので、学校側とよく話し合い、活動をより充実させていきたいと思えます。

6 学校長より

今年度は、昨年度までの活動を見直しつつ、新しい取り組みをしていく予定でしたが、十分に見直せませんでした。定期的に打ち合わせを行い、今後もより良い組織作りをしていきたいです。見守り、図書、環境、学習、実技指導の他、保護者・地域の方々にさらなるアイデアをいただきながら、子どもたちの教育活動がより有効に、より充実したものになるようにしていきます。